

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「やさしさとゆとりをもって接し笑顔と笑い声のある環境作りを目指します。健康管理をしながら、その人らしく生きる楽しみを一緒に過ごします。ターミナルケアを希望される御家族への関わりを大切にします。」という3項目の理念をホームの運営に活かしています。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	法人理念をエレベーターにて到着した壁面に、グループホームの理念をデイルームの壁面に掲示し、日々、心掛けて取り組んでいます。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	入居者ご家族へは普段の生活を送る中で掲示、閲覧していますが、近隣への紹介は十分に行ってはいません。	○ 法人の紹介紙やパンフレット、ホームページを通して理念等のアピールをしていきます。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩などの外出の際、声かけ、ご挨拶はしていますが建物が鉄筋ビル様式、施設は3F4Fでエレベーター使用のためか、個別の面会があっても隣近所の人が立ち寄っていただく事はあまりありません。(工場が多いため)	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	法人が主催する健康まつりや各行事に参加し、外来者と交流したりまた、町内会の盆踊りなどにも参加させてもらっています。	

グループホームさくらんぼ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>母体が医療法人であり地域へは「介護教室」を主催していますので当グループホーム職員も担当を決め、お手伝いをしています。</p>		
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>建物が鉄筋のため暖かみのある工夫として玄関にプランターを置き花、野菜を植えたり、手作りの看板をかけたり、各フロアには入居者が作成した壁画を掲示したりしています。</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>昨年度の運営推進会議で老健屋上での農園について希望がありましたので、なすやオクラ、サニーレタス、トマトなどをつくりました。</p>	○	<p>水遣りなどは職員がおこない、収穫のみ数名参加してもらったが本年度はもう少し一緒に活動していきたいと思えます。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>質問や疑問がある場合には事務長を通して市・区の担当者に伺うようにしています。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>法人で勉強会があるときは参加し、又、市や府で開催される権利擁護等の研修には交替で参加しています。</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>法人内の委員活動のうち身体拘束防止委員として勉強会に参加、また、日々の業務上、お互いに言葉や態度を含めて注意し合う様努めています。</p>		

グループホームさくらんぼ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>基本的に入居前の契約は事務長、施設長が対応しているが、入居後も入居者やご家族の不安、疑問があれば職員一同、事務長、施設長へ報告のうえ説明しています。また、市や府への連絡方法も壁面に掲示しています。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居者参加の運営推進会議を設けていますが最近では参加が少なくなってきました。日帰り旅行や入居者参加の調理実習の献立など各々意見を聞くようにしています。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>当施設では御家族面会が多く、面会の度に日頃の様子や健康状態を話しています。また、「にこにこ便り」という家族向けの新聞を作成し、家族会でも報告したり要望を聞けるよう努めています。お小遣い等の預り金はノートに記載し面会時にサインをもらうようにしています。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>普段より意見を聞くよう努めていますが大阪市や府、国民保健団体連合会等の連絡も掲示しています。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>施設長は兼務で一般の職員と一緒に環境整備や入浴介助、食事介助などにも参加しており随時意見や提案を聞いています。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>正職員で主に早出、日勤、遅出、夜勤入り、夜勤明けを設け、その他にパート雇用にて日常の業務に支障がないよう配慮しています。また行事には人数を確保できるよう調整しています。</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>入居者に対し担当制を敷いているので、できるだけ支障がないよう、入居者、家族へ説明し引き継ぎをするよう努めています。</p>	

グループホームさくらんぼ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>医療法人がヘルパー2級の講座を運営しており、無資格者でも働きながら、資格が取得できるようになっています。</p>	<p>看護部主催の職員研修は看護職向け、介護職向けがあり、月1回の勉強会にはできるだけ参加したり、また、外部研修にも参加し、参加者は伝達を行なう等不参加者にも反映しています。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会やグループホームネットワークなどに入会し、勉強会や相互研修にも参加し、職員個々が技術や工夫を身につけ、サービスの質の向上に努力しています。</p>	<p>ケアの直接的な向上に活かしていけるよう研修の報告会や話し合いの機会をカンファレンス時に設けています。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員同士またはリーダー、管理者と話し合ったり歓送迎会など、外での飲み会をしてストレス軽減を図っています。</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>職員の勤務状況は日々の勤務実施表により内外研修は研修レポート提出により把握できるようにしています。また、院内発表や病院学会の発表等、職員が相互に協力し向上心をもち前向きに働けるように努めています。</p>	<p>法人の看護部主催の院内発表や2年に1回の病院学会の発表には進んで参加し職員がお互いに意見を出し合い協力しています。</p>
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>本人の生活歴や趣味に関する情報を本人や家族から聞き取り、グループホームでの生活への不安や要望などを伺い自分らしく生きていく事の支援が出来るように努力をしています。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>家族が気がかりなことや意見、希望を職員に気軽に伝えたり相談できるように面会時に声かけや定期的に連絡等を行っています。(これまでの「にこにこ便り」・日常生活の写真の閲覧等)</p>	<p>家族には入居者の安全や健康、医療について面会時だけでなく電話での報告をしています。また、行事計画や行事の写真を載せた「にこにこ便り」を送付しています。</p>

グループホームさくらんぼ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族が希望や意見を気軽に相談できるよう、又、今後何を必要とされているのか、多方面より支援を見極め対応しています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学時に施設内や入居者や職員の日頃の様子等見学してもらい、安心して入居して頂ける様に質問や相談にも対応しています。又在宅での生活を家族からの情報を出来るだけ取り入れ、入居者本位の視点に立ち、サービス出来る様になっています。	○	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の趣味や以前の経験を暮らしの中に活かしその人の力を発揮してもらえる様にしています。入居者それぞれにあわせて非言語コミュニケーションも取り混ぜながらコミュニケーションを図り常に声かけ寄り添い信頼関係を築ける様努力しています。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族が気楽に訪問でき、居心地よく過ごせる様な雰囲気作っています。又、家族がホームでの活動に参加できるように場面や機会を作っています。(散歩、外出、行事等)		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族にはホームでの活動、年間行事(遠足、食事会、お花見、クリスマス会等)本人との繋がりを深め、一緒に楽しんで頂けるように参加してもらっています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人が以前の暮らしの中で馴染みにし大切にされていた物などを持って来てもらったりしていますが最近では家族との外出は頻度が少なくなってきました。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	それぞれの生活環境や性格などを把握し、トラブルや孤立しない様にさりげなく間に入り利用者同士の関係がうまくいく様、声かけをし笑顔が戻る様に配慮しています。	○	職員は一人ひとりの性格をよく把握しておりトラブルが起きそうな時は、さりげなく間に入り声かけを行い、気配り、目配りを十分に行なっています。

グループホームさくらんぼ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	以前死亡退去された利用者の家族が近隣に在住していて時々面会に来られたりしています、	○	これまで在宅への移動が無く利用者・家族とのつながりは無くなっています。できることなら家族会OBとしてお付き合いをお願いしたいと思っています。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
<b>1. 一人ひとりの把握</b>				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの生活歴、好みの習慣、役割、出番等を作り出す取り組みをし、本人の希望や意向を汲み取れるように努力しています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前のアセスメントを行い、家族や本人から生活歴などの聞き取りを行い又日常生活のコミュニケーションの中から、ゆっくりと、これまでの生活状況を把握し個々に合った生活が出来るように努めています。		日常生活の中でコミュニケーションを図り、出来る事、出来ない事を把握し、役割、出番を作れる様努力しています。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	職員一人ひとりが入居者それぞれの心身状態等を把握し、日常生活の中で一人ひとりにあわせたコミュニケーションを周知し支援しています。		日常生活の中で、一人ひとりが楽しみ事や、役割、出番を見だし、自分らしく張り合いのある生活を送れる様支援しています。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日常生活の中でコミュニケーションを多くとり、本人、家族、職員と一緒に話し合い意見やアイデアを反映した介護計画作りに努力しています。		本人、家族、職員と一緒に話し合い出来る事、好きな事等を把握し、自分らしく暮らし続けられる様に支援をしたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居者一人ひとりに沿った、きめ細かい介護計画を作成し、本人の状態や希望に応じて見直しを行なっています。見直しの内容や結果は書類に残しています。又御家族には介護計画書の説明をし捺印をもらっています。		

グループホームさくらんぼ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録は一部センター方式を取り入れ、個別の生活習慣を把握し、入居者、御家族の要望等を記録に残しています。	○	個別の生活習慣や要望をもとにカンファレンス等で話し合い、出来る限り一人ひとりの要望に沿った介護計画を作成し実践していきたい。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の急な要望でしたがユニクロでの衣服の購入、手押し車の購入に同行するなどできるだけ個別に対応しています。また、好き嫌いのため食事が極端に少ない利用者には随時栄養科と連携し少しでも栄養の確保を検討しています。	○	要介護度や認知症も重度化し御家族も次第に高齢化しニーズの表出と把握が偏っています。どの利用者の要望にも応えられるようスタッフ間で話し合いをもっていきます。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	散歩や買い物で地域に出かける事は多いですが、公的機関やサービスを利用することはあまりありません。	○	本人の意向に沿いより多くの地域資源を活用し本人がより良く暮らし続ける事が出来る様、普段から連携をとり、支援して行きたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	以前は近隣のデイサービスと連携をとり時々訪問していたが現在は行なっていない。	○	今後は以前の様に連携をとり地域の人達との交流を行い、生活域を広げ楽しく豊かな生活が送れる様に支援して行きたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	2ヶ月に1回運営推進委員会を開催し情報交換をしアドバイスをもらっています。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	併設の名取病院の専門医にて受診、往診等により対応していますが、本人、家族の希望により他病院受診の際には職員同行、又は必要に応じて御家族に同行受診をして頂いています。		

グループホームさくらんぼ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>44</p> <p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>以前は併設の名取病院に心療内科のドクターが週に1回診療しているので受診していたが今現在は受診していません。</p>	<p>○</p>	<p>以前の様に受診したり、相談していきたい。</p>
<p>45</p> <p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>施設長が看護師資格を有しています。夜勤帯には併設の名取病院の当直看護師と連携し24時間サポートをしています。</p>		
<p>46</p> <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>併設の名取病院の医師と常に連携をとり、入退院についての情報交換をスムーズに行なっています。</p>		<p>入院された際には毎日スタッフがお見舞いに行き不安にならない様に努めています。</p>
<p>47</p> <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>状況の変化に伴い主治医と医療連携を密に行い、本人、家族へ状況報告し、意志を尊重する様に、主治医を含めた話し合いを繰り返し行なっています。</p>		
<p>48</p> <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>出来る限り本人、家族の意思を尊重する様に主治医と連携をとり、チームで話し合いを持ち、出来る事を見極め支援に取り組んでいます。</p>		<p>当施設は本人と家族の意向があれば、看取りをするようスタッフ一同、周知しています。平成18年には2名の入居者の看取りをしました平成21年には看取りは出来ませんでした。が病院で亡くなり当施設より、お送りさせて頂きました。</p>
<p>49</p> <p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>グループホームから別の場所に移り住む際は本人、家族、ケア関係者間での住み替えによるダメージを防ぐ様に十分な話し合いや情報交換を行なっています。</p>		



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	毎日の申し送り、又はカンファレンス、ミーティングの際に一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねる事ない言葉かけ対応について話し合いを持っています。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の希望や思いを出せる様な環境づくりや声かけなどを行い、個々に合った自己決定が出来る様対応し、その人らしい暮らしを続ける様に支援しています。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペース状態や希望に沿った毎日の暮らしが出来る様に、その都度職員が話し合いを持ち、入居者の思いに沿う様に柔軟に対応しています。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人の希望に沿いその人らしい身だしなみ、おしゃれが出来る様、支援しています。理容、美容は本人、家族の意向に沿う様に個々に対応しています。	出来る範囲、本人が選んだ服を着てもらっている。理容については外部より来てもらい施設で毎月行なっている。時々、お化粧品をしたりマネキュアを塗ったりしています。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	近隣のお店へ職員同行のもと、一緒に買い物に行っています。個々に出来る力を活かし職員と一緒に準備や、調理、片付けを行い楽しんで食事が出来るよう支援しています。	調理師を25年されていた入居者や元主婦がおられるので盛り付けやお米とぎ、味付け、お茶を入れてもらったり、後片付けと声かけを行い、一緒に行なっています。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人が望む嗜好物を一人ひとりの状況に合わせて提供しています。また場合により家族より情報提供して頂き、日常的に毎日が楽しく、その人らしい暮らしが出来る様に支援しています。	本人、家族より晩酌をされたいと希望があった為、飲んで貰ったが、足元がふらつき他者にも勧め、からみがあった為、ノンアルコールビールを毎週3日飲んでもらっている。

グループホームさくらんぼ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人ひとりの状態に合わせて昼夜を使い分け昼はパンツ、夜はパット使用等で対応しています。日中はオムツの使用をさげトイレ誘導をしています。		トイレ誘導は時間を決め行い、その他にも一人ひとりの仕草や訴えがある場合も行っています。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間帯、入浴回数の希望タイミングに合わせて入浴してもらっています。入浴を拒む入居者様には言葉かけやチームプレイ、少し時間を置いたり気持ち良く入浴してもらっています。		本人の好みや湯量、湯温、入浴時間など気持ちよく入って頂ける様心がけています。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	記録等で一人ひとりの睡眠パターンを把握し日中は散歩や歩行練習、レクリエーションなどを行い生活リズム作りを意識的に行っています。		眠れない入居者様には職員が付き添い話を聞いたりお茶やお菓子を一緒に食べたり工夫をしています。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴や好きな事を一人ひとりに合わせスタッフと将棋をしたり、貼り絵、洗濯物をたたんでもらったり、食事の盛り付けなど行っていただいています。併設の老人保健施設が行っている季節のイベントにも参加し気分転換をはかり楽しんで頂いています。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理が可能な方には、財布を持ってもらっています。隣接している病院内の喫茶店に行ったり、スーパーへ買い物に行ったり、好みの服を一緒にさがしたり好みの服があれば支払いをして頂いています。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	調理実習やおやつを買出しに行っています。天気の良い日は隣接している病院の屋上や公園近くの緑陰道路に出かけています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	買い物ツアーや遠足、花見など企画し家族の参加を呼びかけ、つながりを作って頂ける様にか機会をつくっています。		

グループホームさくらんぼ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自発的な希望がなく現時点では行っていません。	○	自発的に希望される事がないため御家族様に協力していただき、職員サイドから声かけなどをおこないホーム外の方々との交流が図れるよう支援していききたいと思います。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問者が訪れた際、入居者様との時間を邪魔しない程度の挨拶・入居者様の近状報告などをおこないコミュニケーション図り気軽に訪問して頂ける雰囲気作りを心がけています。またお茶をお出しし、入居者様との水入らずの時間を提供する為居室にご案内するなど配慮しています。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現在チェック表を使用し拘束の時間、拘束が必要であった理由を記入、どの時間帯にどのような理由で拘束をしたのかを把握しやすくすることにより拘束時間の減少に努めています。また御家族様に書面にて説明、ご理解をいただき定期的にカンファレンスを行い拘束の解除に向けて努力しています。	○	拘束時間の減少・または完全解除に向けて努力していますが、法人の委員会活動にも参加し、知識の向上・意識の統一を図っていききたいと思います。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	構造上電子ロックになっており、目の前が交通量の多い道路である為実践されていません。		電子ロックである為解除は難しいですが出来るだけ屋外に入居者様をお連れし閉塞感を感じさせないよう配慮しています。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	各居室にカギがあり自身のプライベートな時間を確保できるよう配慮しています。夜間の巡回時も安全のため居室に入室はしますが安眠を妨げないよう配慮しています。		2フロアという構造上、入居者様のほとんどが日中3階デイルームにてすごしておられる為少しでも自身のプライベートな時間を過ごしていただけるよう、居室に戻りたい時言い出しやすい雰囲気作りに配慮しています。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な物品を一律になくすということはおこなっていません。各入居者様に応じて対応しています。針・刃物についても自己にて管理できる方については自己管理していただいています。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	常に入居者様の所在・状態を把握し事故の起きない環境作りに配慮しています。また事故が起きた場合、状況・結果・を踏まえ職員で話し合い再発防止に努めています。		

グループホームさくらんぼ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	隣が病院であり、常時何かあれば来て頂ける為、安心感がありそのため十分に訓練ができていません。	○	利用者の病状や状態など把握し急変の場合でも応急手当・初期対応の訓練をおこなっていききたいと思います。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回消防訓練をおこなっています。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	御家族様の面会時に常時、入居者様の近状を報告し、入居者様の変化、それに伴うリスクを理解して頂けるよう配慮しています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日朝夕の2回申し送りをを行いその日の様子変化を次の勤務の職員につたえ情報を伝達できるようにしています。また申し送りノートを使用し、直接会わない職員にも情報が伝わるよう工夫しています。その他、月に1回の詰所会にて入居者様の近状について話し合い、変化や対応について、職員間での統一を図っています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師が各入居者毎に日付けに分かれたボックスに入れてくれている為日付と名前、朝・昼・夜の確認はその都度おこなっていますが目的・副作用・用法・用量については理解しているとは言えません。	○	勉強会を行い知識の向上を努めたいと思います。また各職員の意識の向上を図っていききたいと思います。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	影響を理解しているとはいえませんが原因はある程度、理解しており、水分や食物繊維の多い食品の摂取を促したり、腸の蠕動運動を促す為運動を促したりしています。また排泄表を使用し排泄間隔・時間を把握、排泄コントロールができるようにしています。	○	原因・影響などの知識の向上のため勉強会を行いたいと思います。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後には行えていません。自己管理できる方は毎食後されていますがそれ以外の方は1日1回、夕食後にのみ行なっています。(経管栄養の入居者様は朝食後)		

グループホームさくらんぼ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスは栄養士により計算されたものを摂取しています。食事量、水分量はスタッフが声かけや時間をおき摂取してもらっています。		1日1400～1600kcalとしています。水分量は毎日チェックしています。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザは毎年、予防接種を行っています。ノロウイルスは環境整備の消毒薬を替え対応し、他部署などの発生時は外出をしないなどし、マニュアル通り行っています。		1日1回、流行時季は2回消毒等で清拭(ベットの柵、手摺り、トイレ、ドアノブ)病院併設なので感染対策等はマニュアル通り実施しています。
	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材の管理や衛生管理には気をつけています。併設の病院厨房より、新鮮な食材で調理した食事が運ばれグループホームで盛り付けと味の調整をしています。	○	賞味期限は特に注意しています。生物(野菜)は夏場は湯通しして使用しています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前には花を置き、施設の入口のドアに手作りの看板をつけたりし、色をつけ道路から見てすぐわかる様にしています。地域の方が、いつでも入れるような環境づくりにしています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には花を置き、廊下には入居者の作品の壁画などを飾り、トイレ、台所、浴室の入口にはカーテンをかけたり、花を飾ったりし、時には季節の物を飾ったりしています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	施設内が狭い為、3F・4Fで9名のユニット対応になっていますが、皆が集まる階には大きなテレビやソファを置き、個々に過ごせる様、工夫をしています。		

グループホームさくらんぼ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の居室には家族に以前自宅で使用していた物や馴染みのある物、家族の写真など持ってきてもらっています。当施設は開設時より地域的な情景を配慮し、全ての居室にはベット・机・椅子等をセットしています。	○	各居室の寝具、壁紙、カーテンなどを入居者の趣向に合った柄や物に変えていきたい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	気になるにおいは各居室、トイレなどに、お部屋の芳香剤などを置き、常に換気も行っています。エアコンがあり温度調節を行っています。	○	定期的に簡単な空調周りの清掃はおこなっているが、年に数回はエアコン、室外機、換気扇などの空調周りを専門業者に洗浄をたのみたい。
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やリビング、トイレ、浴室には手摺りをつけ、床は前面バリアフリーにし安全に配慮しています。		居室や入居者が使用する場所には手作りのカーテン、ポップ等でわかりやすく工夫しています。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	さりげない声かけや誘導により、不安や混乱がなく一人ひとりの力を生かし自立して暮らせるように工夫をしています。		手作りのカーテンに大きく文字を入れるなど工夫しています。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関に花を置き、散歩など行うときに楽しんでもらえるよう取り組んでいます。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

グループホームさくらんぼ

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
			②少しずつ増えている
		○	③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている		①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
		○	③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
		○	③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)